**◆　福部町**

**福部町**

**●歴史**

本町は、今から約５０００年前の縄文時代には既に人が住んでいたことが明らかとなっており、これを示す土器や石器が直浪・栗谷遺跡から多数出土しています。これらの遺跡の成り立ちには地理的に砂丘が大きく関係しており、砂丘こそ福部の人々の生活の母とも言うべき存在であり、本町の歴史は砂丘から始まったとも言えます。

町の前身である福部村は古代から長く１村であったが、徳川時代から大正時代にかけて、２～３村の分割と統合を繰り返し、昭和３年に「服部村」と「塩見村」が合併して「福部村」が誕生しました。

「福部」の名称は、この地域が江戸時代に「福田保」と「服部庄」の区域に含まれており、これを１文字ずつ取って名づけたものと言われています。

**●特性**

①海岸線は、山陰海岸国立公園および山陰海岸ジオパーク※エリアの一部になっており、特に鳥取砂丘は東西16㎞、南北2㎞と日本最大規模を誇り、年間を通じて多くの観光客が訪れ、本市のみならず鳥取県を代表する観光地になっています。

②砂丘地で栽培される「砂丘らっきょう」は、全国有数の出荷量とその名を全国に知られた鳥取県を代表する特産品として確立されています。また、本市の花でもある赤紫色で可憐な「らっきょうの花」は、鳥取砂丘の新しい観光資源として全国に情報発信しています。

③鳥取砂丘に近い湯山地区には、砂丘観光と連携した「観光梨狩り園」や直売所が多数あり、積極的に観光農業を実践しています。

④本町の南部地域は、水稲栽培を中心とした純農村地帯であり、農家のほとんどは第２種兼業農家です。

|  |  |
| --- | --- |
| 区　分 | 主なもの |
| 特産品 | 梨、らっきょう、エシャロット、砂たまご、砂コーヒー |
| 観　光 | 鳥取砂丘、鳥取砂丘砂の美術館、多鯰ヶ池、福部海岸、砂丘温泉ふれあい会館、観光農業、らっきょう畑 |
| イベント | 鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会、砂もり大会~~、砂丘凧揚げ大会~~、アイデア館まつり、鳥取すごい！ライド |

**●資源**